

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 資本論 | 資本論 (4)

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

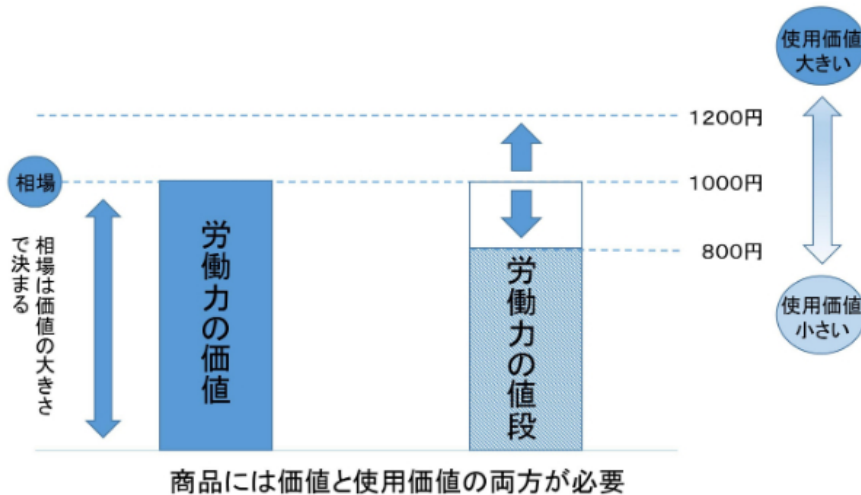
資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

資本論 (4)

労働力の「価値」が労働力をつくるための生産コストだとしたら、労働力の「使用価値」とは何だろう。労働力の「使用価値」は「労働力を使った時のメリット」である。要するに会社が、その人の「労働力を使って稼ぐ利益」のことである。つまり、使用価値が高い労働者は、能力が高く、会社に対して大きな利益をもたらす人である。使用価値が低い労働者は、能力が低く、成果を上げられない人となる。しかし、その使用価値がただちに値段に直結するものでもない。使用価値が高いものは、需要と供給の法則に従って、その値段が調整される。2倍の使用価値があっても、2倍の給料がもらえるわけではない。それでは成果を上げて意味がないのかといえばそんなことはない。「労働力」が「商品」になるためには、使用価値があることが絶対条件である。成果を上げられない労働者は、資本主義経済のルールからいえば、使用価値がないので「商品」にならず、買ってもらえないということになる。労働力の「使用価値」は「雇い続けてもらう」ための絶対条件であり、給料を上げる要因ではない。



(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>> 一覧へ戻る

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE 【ワーカーズ・ライブラリー】

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.